

社会資本総合整備計画 事後評価書																					
計画の名称	相模湾の港湾における安全で快適な港づくり																				
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当									
交付対象	神奈川県																				
計画の目標	【真鶴港】 真鶴港活性化整備計画に基づき、物揚場及び船揚場を改良し、産業活性化に向けた基盤を整備する。																				
	【湘南港】 東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技が開催される湘南港において、必要な環境整備を着実に行う。																				
	【相模湾の港湾】 地方港湾、漁港、マリーナと連携した相模湾クルージングツアー活性化のための基盤整備等を行う。																				
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,317		A	1,314		B	0		C	3		D	0		効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0.22		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和2年度		令和6年度
1	【真鶴港】物揚場及び船揚場の改良により、水面係留8隻及び陸置8隻を可能とし、産業を活性化する。			
	物揚場改良後の漁船係留隻数	0隻	隻	8隻
2	【湘南港】緑地（トイレ等）の改良や港湾施設のバリアフリー化により、港湾利用者の利便性の向上を図り、港湾緑地への来訪者を増加する。			
	本整備計画に位置付けられた江の島内のトイレバリアフリー化率	0%	%	100%
3	【相模湾の港湾】相模湾の港湾を利用したクルージングツアーを増加させる。			
	相模湾の港湾を利用したクルージングツアーを実施した事業者数	0者	者	2者

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	物揚場改良	物揚場改良 L=157m	真鶴港 真鶴地区	■	■	■	■	■	667		－
	A02-002	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	船揚場改良	船揚場改良 L=90m	真鶴港 真鶴地区		■	■	■	■	225		－
	A02-003	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	緑地改良・バリアフリー化	緑地改良・バリアフリー化 1 式	湘南港 江の島地区	■					45		－
	A02-004	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	係留施設整備	係留施設整備 1 式	湘南港 江の島地区			■	■	■	377	9.8	－
											小計						1,314		
											合計						1,314		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	C02-001	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	－	海上観光運航実験	海上観光運航実験 1 式	湘南港 江の島 地区		■	■			3		－
		海上観光運航実験を実施することで、相模湾の港湾における海上観光の実現を図り、港の賑わいを創出する。																	
											小計						3		
											合計						3		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
策定主体にて実施	令和 8 年 1 月
	公表の方法
	神奈川県県土整備局河川下水道部河港課ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	真鶴港の物揚場・船揚場の改良により、4 隻の水面係留が可能となった。 湘南港内のトイレの改良により、本計画に位置付けた施設のバリアフリー化率が 1 0 0 % となり、利用者の利便性向上が図られた。 湘南港の係留施設整備により、湘南港を基点とした相模湾の海上交通の運航が開始し、複数の事業者によるクルージングツアーが実施された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
本計画の残事業については、令和 7 年度～令和 1 1 年度の整備計画に位置付け、引き続き整備を進めるとともに、本計画において改修・整備を行った 施設については、適切に維持管理を行う。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	【真鶴港】 物揚場及び船揚場の改良により、水面係留8隻及び陸置8隻を可能とし、産業を活性化する		
	最 終 目標値	8隻	物揚場の整備が一部遅れており、目標値に達しなかった。当該事業については、 令和7年度～令和11年度の整備計画に位置付けており、引き続き整備を進める。
	最 終 実績値	4隻	
2	【湘南港】 緑地（トイレ等）の改良や港湾施設のバリアフリー化により、港湾利用者の利便性の向上を図り、港湾緑地への来訪者を増加する。		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
3	【相模湾の港湾】 相模湾の港湾を利用したクルージングツアーを増加させる。		
	最 終 目標値	2者	湘南港の係留施設整備により、海上交通の運航が可能となり、目標を超える事業者の参画があった。
	最 終 実績値	6者	